

大阪PCB廃棄物処理事業だより (No.10)

◎ ビオトープの状況

大阪事業所は雨水を利用したビオトープ^(注)を西棟南側のバス停前に整備しています。屋根に降った雨水を一時タンクに貯留し、小川に利用しています。ビオトープはこの時期、スイレンが咲き、メダカ、ヤゴや野鳥等の様々な生き物がみられ、バス停で待っている方々の憩いの場となっています。また、当施設内の非常用電気室（外壁と鉄骨の間）にはセキレイ(スズメ目セキレイ科)が営巣し、5個の卵のふ化が心待ちにされます。

(注)：ビオトープとは、ドイツ語で「生き物のすみ場所」という意味です。最近では、色々な種類の生き物が、自分の力で生きていくことのできる自然環境をそなえた場所を、ビオトープと呼んでいます。



ビオトープとスイレンの花（右下）

ビオトープ補給水タンク

◎ 保管事業者見学会・説明会の開催



説明会

見学会

5月11日に城東・住吉・天王寺区の49保管事業者(63名)、6月1日に生野・阿倍野・東住吉・平野区の56保管事業者(66名)を対象に保管事業者見学会や処理手続き等の説明会を行いました。個別相談会も実施され、適正処理の推進に向けて、今後も引き続き大阪市内の保管事業者説明会・見学会を積極的に行います。

◎ 施設見学の状況

毎週火・木曜日の予約見学は大変多くの方にご来場いただき、5月末現在で約2,500名以上の方が見学されました。海外からの視察もあり、5月17日にはオランダのPCB廃棄物処理の専門家が世界初の大阪PCB廃棄物処理施設を熱心に見学されました。



オランダの専門家（PCB廃棄物処理）

◎ PCB廃棄物の受入状況

昨年10月から5月末のPCB廃棄物受入状況は、トランス類が110台、コンデンサ類が2,681台、PCB油が27缶となっています。これは大阪市内で保管されているPCB廃棄物に対して、トランス類では約8%、コンデンサ類が約25%となります。（対早期登録データ比）

◎ 安全教育の状況

4月に分離回収液を専用タンクに充填中、タンク上蓋部分に数リットルの回収液を貯めるというトラブルを発生させましたが、環境への影響はありませんでした。このようなトラブルの再発防止のため、全従業員対象に定期的に安全教育を行っています。テーマは「緊急時対応にすべきことは」、「なぜHHK（ヒヤリ・ハット、気がかり）か」等であり、この教育を行うことにより、処理施設の安全・安定な操業につながっています。また6月は全国安全週間（7月1日～7月7日）の準備期間であり「ヒューマンエラー防止 指差し呼称ヨシ!!」を重点項目に取り組んでいます。



安全教育



全国安全週間の啓発活動

◎ 自衛消防訓練の実施



消火器訓練



此花消防署大崎司令の講評

6月7日、此花消防署のご協力のもと、自衛消防訓練を行いました。今回、事務エリアからの出火を想定した通報訓練、消火訓練、避難誘導訓練を実施しました。月例の緊急時対応訓練と併せて、このような消防訓練を、今後行う予定です。



洲男（しまお）

☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学・1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 日本環境安全事業（株）大阪事業所
TEL：06-6468-0575
ホームページ：http://www.jesconet.co.jp



舞子（まいこ）

☆編集後記☆

平成19年度を迎え大阪事業所ではビオトープやセキレイ営業のトピックスが続いております。PCB廃棄物の処理に関しましては、環境・安全衛生管理活動に取り組み、安全確実な処理を行ってまいりますので、ご指導ご支援の程よろしくお願いいたします。



☆べん蔵☆



【発行】 日本環境安全事業株式会社
大阪事業所 06-6468-0575
// 営業グループ（弁天事務所）06-6575-5575